

英語科に関する検討資料

H19. 7. 23 高校教育課

基本的な考え方

国際化の進展に伴って、外国語教育、国際理解教育を推進し、外国語による実践的コミュニケーション能力を育成する必要性が指摘されている。

英語科では、授業以外に、海外研修、イングリッシュキャンプ等の体験学習や留学生の受け入れなどにより、実践的コミュニケーション能力を身につけさせるとともに、異文化を理解し尊重する態度の育成を図っている。

近年、小学校においても英語活動が行われるようになり、英語教育に対するニーズは一層高まると予想されることから、今後も英語科の特性を生かした教育を推進していくとともに、生徒の多様なニーズに応じて、教育内容や指導方法をさらに改善していく必要がある。

また、英語科の特性や教育効果について、中学生や保護者の理解が得られるよう、さらに努めていく必要がある。

(1) 設置の経緯

浜田市に国際短大が開校したことを受けて、江津市がカリフォルニア州コロナ市と友好関係にあったこと、山陰線、三江線による通学の利便性等から、平成7年に江津高校に設置した。

(2) 志願状況（受検者数、合格者数）

	H15	H16	H17	H18	H19	平均
受検者	31	23	17	24	27	24.4
合格者	40	23	19	26	36	28.8

(3) 出身地区（中学校）別入学者数（高校教育課調査）

英語科

入学年度	江津市	浜田市	大田市	出雲市	雲南市	邑智郡	県外	計
H17	9	5	2	1	1	0	1	19
H18	12	9	3	0	0	1	1	26
H19	24	10	1	0	0	0	1	36
計	45	24	6	1	1	1	3	81
割合	0.85		0.15					

※普通科

入学年度	江津市	浜田市	大田市	出雲市	飯石郡	邑智郡	県外	計
H17	98	19	1	0	1	0	1	120
H18	68	4	5	0	1	2	0	80
H19	69	9	0	0	0	1	1	80
計	235	32	6	0	2	3	2	280
割合	0.95		0.05					

(4) 進路状況 (H15～H19の主な進路先)

- ・国公立大学 島根大、島根県立大、神戸市立外語大、大阪外語大、広島大、山口県立大
- ・私立大学 関西外語大、武庫川女子大、京都外語大、龍谷大、広島修道大
- ・短期大学 島根女子短大、島根県立大短大部、倉敷市立短大、関西外大短大部
- ・専門学校 大阪外語専門、石見高看、リハビリテーションカレッジ島根
- ・就職 財務省中国財務局、JAいわみ、グリーンモール、サンキ

(下線は英語、国際関係)

(5) 検討事項

- ・志願者が少ない状況をどう考えるか。
- ・英語科の配置についてどう考えるか。